

事前評価調書

I 事業概要																																					
事業名	交通安全対策事業（交差点改良事業）																																				
地区名	一般県道 <small>とみおかおおみ</small> 富岡大海線（ <small>くろだ</small> 黒田工区）																																				
事業箇所	新城市 <small>しんしろしくろだ</small> 黒田地内																																				
事業のあらまし	<p>一般県道<small>とみおかおおみせん</small>富岡大海線と市道<small>くろだはぎひらのかわおたせん</small>黒田萩平野川大田線の交差点は、市道沿線には工業団地があるため県道から市道への相互交通が主交通となっている。また、当該交差点は、工業団地への通勤自動車に加え、大型車及びセミトレーラーの交通量も多く、直角交差でないことから、直進車両との出会い頭の事故発生が危惧される。それに加えて、小学校の通学路にも指定されているため、本事業は交差点改良をすることにより、交通事故の削減及び歩行者等の安全確保を図るものである。</p>																																				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①交通事故の削減 ②歩行者等の安全確保</p>																																				
事業費	事業費		内訳																																		
	2.0 億円		■工事費 1.5 億円、■用補費 0.4 億円、■その他 0.1 億円																																		
事業期間	採択予定年度	2021 年度	着工予定年度	2023 年度	完成予定年度	2024 年度																															
事業内容	交差点改良 L=120m																																				
II 評価																																					
①事業の必要性	1) 必要性	工業団地への通勤車両、大型車両の通行も多く、通学路にも指定されていることから、車両・歩行者等が安全に通行するためには交差点の改良が必要である。																																			
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】現状の交差点は信号機が設置されておらず、通学路にも指定されていることから、安全性の確保が必要であるため。</p>																																		
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工 種 区 分</td> <td>調査設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3" style="border: none;">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4">2.0</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table>							2021	2022	2023	2024	合計	工 種 区 分	調査設計	←→				/	用地補償		←→			工事			←→		事業費（億円）		2.0				2.0
			2021	2022	2023	2024	合計																														
	工 種 区 分	調査設計	←→				/																														
用地補償			←→																																		
工事				←→																																	
事業費（億円）		2.0				2.0																															
2) 地元の合意形成	地元からの強い要望があり、地元との合意形成がなされている。																																				
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】 地元からの要望であり、事業執行環境は整っているため、事業の実効性が期待できる。</p>																																			
III 対応方針																																					

事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生状況の変化 ・自転車及び歩行者の通行に係る安全性の改善状況 	